



電話 84-7006 FAX 71-7055 只見町大字長浜字唱平 60 番地

《第24号 since》

今年も半年が過ぎました。室内でも曇りの日でも熱中症の危険があるそうです！
水分補給や休憩をとりながら、日々元気に過ごしていきましょう！

■住みやすい町になるための検討会「地域福祉推進委員会」を設置しました！

只見町は、「住みやすいまちづくり」を目標のひとつに掲げています。

只見町振興計画（第4章）は、地域福祉計画を兼ね、6つの基本方針を決めています。

今回社会福祉協議会では、その考え方に沿ったそれぞれの取り組みをより具体化するため

「只見町地域福祉推進委員会」を設置し、委員会で検討しています。

◎下記は、只見町の重点推進施策です。



- 1 高齢者と言っても多くの方は健康であり、その技術・経験を活かしながら、生きがいと良好な人間関係を育みながら地域活力の向上に繋げるためには、どうしたらいいか？
- 2 女性がまちづくりなどの社会活動に参画できる町になるには、どうしたらいいか？
- 3 子ども時代の望ましい遊び・運動の習慣は、大人になってからの身体活動習慣に持ち越されるとともに、情緒性・社会性の発達に欠くことのできない成長の場であるとの研究報告がある。（国立大学法人 山梨大学教育学部長 中村和彦教授）
子どもが健やかに成長するための環境づくりやサポート体制は、どうしたらいいか？

■だまされません！私たち勉強しました（下福井サロン）！

下福井サロンでは、6月23日に福島県消費生活課（消費者生活センター）の新妻主任主査を講師にお招きし、「悪徳商法の手口と対策」について勉強しました。



【講師の新妻主任主査】



はっきり断り、素早く
電話を切りましょう！



電話 84-7006 FAX 71-7055 只見町大字長浜字唱平 60 番地

■保育所の子どもたちの絵を お弁当と一緒に！

子どもたちの絵を弁当の上包みにして一緒に配布できないか横山加津也前保育所長に相談したところ、すぐに保育所内で検討して頂き、今回実現しました。

伸び伸びとした子どもたちの絵を見ながら食べれば、更に美味しくなるものと思います。

これから毎回です。楽しみにして頂けたら嬉しいかぎりです！

よい子の子どもたち、そして横山前所長、保育所の先生方本当にありがとうございます！



お弁当をおいしく食べていただけますよう
町内の保育所の子供達を書いてくれました！
今月は朝日保育所の年長さんです。

■かつて只見町にも「替女（ごぜ）」の姿がありました。（来春公開です！）



替女 渡部 等

親しくは替女さんと呼ばれ、三味線を奏で語り物などを唄いながら、各地を門付けして歩く「盲目の女旅芸人」のことです。幼少の頃から親方と呼ばれる師匠に預けられ、替女として生きてゆく為に厳しく芸を仕込まれました。

替女たちは、期待し待ち望んでいる村人たちのために、視力の残った手先を先頭に、3〜4人が一組となって師匠から弟子の順に前の人の肩の荷に左手を触れて動きを知り、右手に持った杖で足元を確認して歩きました。村の庄屋は、宿を提供し村人あつめて替女唄を聞かせます。替女たちは力いっぱい演じました。村人たちもお初穂を差し僅かなおひねりを布施としました。お互いの気持ちを通じた豊かなひとときをつくりだしました。

替女たちが聞かせてくれる三味線芸は、物語性のある古浄瑠璃などの段物を中心に、流行り歌、民謡などのほか都会の出来事や地震災害などを読み込んだ口説き節で遠く離れた地方の動きを知りました。

最盛期には北陸、東北を中心に約1000人を超える替女が居ましたが、やがて衰退の一途を辿り、昭和初期になると、その姿を見ることがなくなりました。

替女とは What's GOZE

■ご寄附お礼

社会福祉事業（介護事業）のためにご寄附を頂きました。

只見字雨堤 藤田 修様 金10万円

（故 藤田久子様の一周年にあたり）

誠にありがとうございました。大切に使用させていただきます。

